

全層ファルカタ合板を本格供給

インドネシアのSUB

インドネシアのサムコグループ傘下の合板工場、スジャテラ・ウサハ・ブルサマ(SUB、スラバヤ、アリス・スナルコ社長)は、全層ファルカタによる植林木フロア台板の日本向け供給量を増加させる。日本の大手建材メーカーが採用を本格化したことで、現状供給量の5倍まで拡大する計画を立てている。

植林木フロア台板が引き合ろう

SUBは、植林木だけにとどまるが、建材に活用する合板工場。傘下には、合板やLVL製造のスネル・グラハス・ジャテラ(SGS)やMDF等がある。約5年前、SGSが植林木資源を活用して、SUBはSGS系列の合板工場となる。約5年前、SGSが植林木資源を活用して、SUBはSGS系列の合板工場となる。

日本向けは9・2ミ²厚3×6判(ノンJAS、F☆☆☆☆)で、MDFと張り合わせることを念頭に置いたサイズ。目下、供給量は月間500〜600立方メートル。日本向けは9・2ミ²厚3×6判(ノンJAS、F☆☆☆☆)で、MDFと張り合わせることを念頭に置いたサイズ。目下、供給量は月間500〜600立方メートル。日本向けは9・2ミ²厚3×6判(ノンJAS、F☆☆☆☆)で、MDFと張り合わせることを念頭に置いたサイズ。目下、供給量は月間500〜600立方メートル。

日本向けは9・2ミ²厚3×6判(ノンJAS、F☆☆☆☆)で、MDFと張り合わせることを念頭に置いたサイズ。目下、供給量は月間500〜600立方メートル。日本向けは9・2ミ²厚3×6判(ノンJAS、F☆☆☆☆)で、MDFと張り合わせることを念頭に置いたサイズ。目下、供給量は月間500〜600立方メートル。

共通無料相談券でニーズ調査

住設機器・建材メーカーや住宅会社などから構成される住宅インフィル・リフォーム懇話会(東京都、神崎茂治座長)は、共通無料相談券を発行すること

住設機器・建材メーカーや住宅会社などから構成される住宅インフィル・リフォーム懇話会(東京都、神崎茂治座長)は、共通無料相談券を発行すること

住設機器・建材メーカーや住宅会社などから構成される住宅インフィル・リフォーム懇話会(東京都、神崎茂治座長)は、共通無料相談券を発行すること

フルタニランバー(石川県金沢市、古谷謙明社長)は、木材製品のインターネット販売事業に本格的に乗り出す。同社はこのほど、インターネット通販大手の楽天市場にネットショップ「木選舎」を出店し、フリー板やフローリングなどの販売を開始した。今月はさらにパソコン周辺機器などの販売製品を拡充、一般消費者の木材製品への関心を向上させ需要の喚起を図っていく。

パソコン周辺機器を木製に

ネット販売で需要の裾野広げる

きたが、今回、新たにインターネットでの販売事業に乗り出した。ネットショップ木選舎での販売品目は、広葉樹を中心とするフロアリング、タモやアカ松、ゴムなどの集成フリー板を主力としている。一般消費者の木材需要を喚起するため、木製USBや木製マウスや木製キーボードの開発を進め、販売製品を広げていく考えだ。

や家具、建具部材向けに造作材を販売している。フリー板などの原料を中国やインドネシア、クロアチア、カナダなど世界各国から直輸入し、顧客の要望に合わせ自社工場での加工、出荷などを事業の軸として

フルタニランバー

阪市、越井潤社長)のサーモウッド技術を採り用している。古谷社長の話、木製USBは贈答用として個人からの問い合わせ